

I-13-10 2 型糖尿病での血糖コントロールと酸化ストレス
に対するグリメピリドの効果 - ボグリボースとの
比較検討：名古屋市医師会臨床研究

医療法人洪内科クリニック¹

洪 尚樹¹、名古屋市医師会

【目的】軽症糖尿病での血糖コントロールと酸化ストレスへのグリメピリド(G)の効果をボグリボース(V)と比較検討【対象】名古屋市医師会開業医 39 名に通院する軽症 2 型糖尿病初回治療患者 (G32 名、V33 名)【方法】G0.5mg/日、V0.3mg/日より開始し HbA1c6.0%未満を目標に漸増して 24W 観察【結果】1) 最終投与量：G が 1.61mg、V が 0.86mg 2) 血糖コントロール：G の血糖コントロール改善効果は V より速やかで 4 週目より認められ、 $6.99 \pm 0.31(0W)$ $5.98 \pm 0.36(24W)$ と有意に改善 3) 食後過血糖：G で V より顕著な FBG と食後 1 時間 BG と 2 時間 BG の有意な低下を認めた 4) 酸化ストレス：G のみ有意な改善を認めた 5) 低血糖は両群で有意差なし【結論】軽症 2 型糖尿病患者では速やかな血糖コントロール改善が糖尿病性慢性合併症発症予防に有効なことを示すと共に、実地臨床での SU 薬の効果的な投与方法モデルのひとつを示した。